

平成27年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
安堵町	安堵中学校

① 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

学校は、多くの組織によって支えられていることを認識するとともに、町内各種団体の活動と学校教育との接点を見いだすべく、相互のコミュニケーションを深めることが重要である。また、学校を拠点とした地域の活性化を目指し、それぞれの団体・組織の方々に学校教育に参画・協働していただけるよう働きかけていく。

② 特徴的な取組の概要

安堵中学校では、花苗植替ボランティア活動、技術科におけるパソコンの指導補助などの授業支援、写真展示など、学校教育に地域の方々の支援や協力を得てきた。

また、「おはなし会『ねこじゃらし』」の皆様との連携も、伝統的に息の長い取組として続けている。

2月4日立春の日、「ねこじゃらし」の皆様による年度最終回の読み聞かせ会が行われた。1年では、節分にちなみ、『おによろし』（畑中弘子著）から「鬼の助」のお話を、2年では、人間・自然・動物の関係をみごとに描いた大作絵本『鹿よ おれの兄弟よ』（神沢利子著／G・D・パヴリーシン絵）の読み聞かせをしていただいた。



「鬼の助」では、“人を食う鬼”の子として生まれた鬼の助が、素性を隠して人の世界に紛れ込んで生きていく。やがて、妻を持ち、子を授かり、夫婦愛、親子愛、家族愛に包まれて暮らしていくうちに、人の心に目覚めていくという感動的なお話に、生徒たちとともに引きこまれていった。2年で披露いただいた絵本では、児童文学者神沢利子さんの名文とロシアの大芸術家パヴリーシンの絵の世界を読み聞かせによって伝えていただき、作品のイメージにひたることができた。

来年度もまた、「ねこじゃらし」の皆様と文学作品に出会えることを、生徒たちとともに楽しみにしている。

このように、安堵中学校には、生徒たちのために足を運んでくださる地域の皆様がおられる。そして、それぞれの取組が年間計画にもとづいて計画的に実施され、教職員もその意義深さを実感している。今後も、感謝の思いを忘れず、学校にかかわってくださる方々を出迎えていきたい。

